

# 治療を拒否する患者さんとも 通じ合える寄り添いの努力を

## 県連学術運動交流集会で発表

前回に引き続き、県連学術運動交流集会で発表した内容をご紹介します。



私は慢性疾患を抱える患者さんの事例を発表しました。患者さんは内服・注射以上の必要な治療を望まれておらず、外来で今後どのように対応をしていけば良いのか、医療従事者としてジレンマを感じていました。

『臨床倫理4分制』とあって、倫理的に課題のある事例についてさまざまな視点から情報を整理し、多職種で対応を考えていく場を設けました。途中で患者さんが通院を中断されたため、自宅訪問を

行い、患者さんの苦痛に寄り添って、受診に同行しました。その後、入院へと繋がりました。

今回の事例から、治療を拒否している患者さんに対して、患者さんの意思を尊重しながら多職種で関わることで、目の前にある苦痛に寄り添うこと、こちらの結論を押しつけないで、患者さんを含んでみんなが最も適切な方法を考え、相談していく中で合意に至ることの大切さを、あらためて実感することができました。

(看護1科 大崎泰葉)

水島協同病院は差額ベッド料はいただいておりません

ごあんない

# 当院の地域連携医療 情報共有を的確に進める パス文書について

地域連携患者サポートセンター 赤澤 泉

地域連携パスとは、ある疾患の患者さんを中心に、地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれに役割を分担し、情報を共有することにより、今後の診療計画や注意点を明確にして、患者さんを支えていく仕組みです。脳卒中などの急性疾患で、急性期病院での治療後、他職種の情報や診療計画を転院先に引き継ぎ、十分なりハビリを行うことが

「一方向型」と、がん治療・心不全など長期にわたる疾患で、通常はかかりつけ医、必要に応じて専門医が診療にあたり、患者さんの経過をみていく「双方向型」があります。

パスの利用には条件があり、やり取りを行う医療機関同士で、施設基準の届け出が必要です。該当する患者さんは同意が必要のため、受診されている医療機関より説明があります。

当院は、倉敷医療生活協同組合の医療機関と「一方向型」、倉敷市内の高度急性期病院と「双方向型」のパスを利用しています。利用説明を受けられた方は受診する医療機関に書類をご提出ください。(疾患別の手帳を作成している病院もあります)

## 2階西病棟 季節を彩る 手づくりの飾り



2階西病棟では、寝たきりで、部屋から一步も出ない日々を過ごし、刺激もなく季節感も感じられずにいる患者さんがいらっしゃいます。ベッドからデイルームに出てきて、季節を感じる雰囲気があればと思い、スタッフや作業が出来る患者さんとともに、リハビリをかねて季節の飾り付けをしています。毎月、季節の壁紙やリースなどを作っています。患者さんはこれを楽しみにデイルームに出てこられ、笑顔が増えています。

(2階西看護師 古野 忍)

脳卒中地域連携診療計画書

急性期病院 (総合病院 水島協同病院)

項目	1週目～2週目	転院
入院時	1週目～2週目	転院
検査	脳血管造影のペーパー検査が つる次第転院となります	
治療	急性期の管理に合わせ、高血圧等の 管理が継続されます	
看護	看護の管理に合わせ、褥瘡 管理が継続されます	
理学療法	理学療法の管理に合わせ、 歩行訓練が継続されます	
言語療法	言語療法の管理に合わせ、 コミュニケーション訓練が 継続されます	
栄養	栄養の管理に合わせ、 経管栄養が継続されます	
薬剤	薬剤の管理に合わせ、 薬剤投与が継続されます	
その他	その他	

脳卒中地域連携診療計画書

急性期病院 (総合病院 水島協同病院)

転院先 (総合病院 水島協同病院)

転院日

転院理由

転院先への連絡先

転院先への連絡先

転院先への連絡先

▲当院作成の脳卒中疾患用  
地域連携パス文書

虹の意見箱

みなさまから  
貴重な声を  
いただいています

投稿場所… 病院4階

協同病院にお世話になるのは初めてでした。入院した時は、身も心もズタズタという言葉がピッタリの状態でした。毎日の病院生活で徐々に、身体も心も軽くなって、前向きになる事できるまでに回復しました。筆下手で恥ずかしいのですが、院長先生、師長さん、お世話してくださったスタッフの方、学生さん、本当にお世話になりました。廊下で、すれ違う時にもニコリ声かけてくれて、本当にやさしく接してくれました。この用紙では書ききれない程、たくさんの言葉、どなたにもやさしく、声をかけ接しているのを見て、私も人にやさしくしようと今更ながら思いました。

リハビリの方々、又、私をささえて下さった方々、心からお礼を申し上げます。皆様お一人おひとりに御礼を言いたいです。こんな形でごめんなさい。そして、ありがとうございます。

【お答え】

心あたたまるお言葉をいただきありがとうございます。私たち医療従事者の大きな励みになります。今後も、患者さんの苦しさを不安を少しでも和らげる医療を提供できるように、日々研鑽してまいります。

4階南病棟

投稿場所… 病院1階

外来で入院前に頂いた、「ご入院される方へお伺いしたいこと」という紙が印刷が薄かったり、見えない所があった。入院後テレビを見るのにイヤホンがいるのを見知らなかった。入院前に教えてほしい。

【お答え】

不自由をお掛けし、申し訳ありませんでした。印刷方法の見直し、確認を指示し周知いたします。

「入院のご案内」の「入院時に用意していただくもの」は、必要最低限の物品に関して書いてあり、イヤホンに関しては、「病院施設・設備のご案内」の中に案内させていたいただいております。分かりにくく、申し訳ありませんでした。わかりやすい広報・説明に努めて参ります。

外来看護1・2科